

令和2年度

放課後等デイサービス自己評価結果について

当法人で運営しております2つの放課後等デイサービス事業所(こどもデイサービスたいよう・こどもデイサービスひまわり)の自己評価結果を公表いたします。

放課後等デイサービスガイドラインの「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」、
「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」によりアンケートを実施いたしました(令和2年10月実施)。ご協力くださった皆様、お忙しい中ありがとうございました。この結果をとりまとめ、職員で話し合いを行った結果、2つの事業所ともに同様の課題があることが見えてきました。今後の事業の運営に活かしていきたいと考えております。

○課題

1. 職員の配置数(女性職員と男性職員の比率がアンバランス)や専門性が適切ではない。
2. 放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会がない。
3. 父母の会の活動を支援や、保護者会等を開催しておらず、保護者同士の連携の支援をする機会がない。
4. 緊急時対応、防犯、感染症対応等各種マニュアルが整備されているかどうか保護者へ周知できていない。避難訓練等の実施について保護者へ周知できていない。
5. 上記以外の情報が共有、周知できていない。

○今後の対応

1. 職員配置に関しては来年度の人事で適切に対応する。専門性に関しては月1回の勉強会の実施。
2. 児童の特性に配慮し、個別支援を中心とした支援を行う。
3. 利用がまちまちのため父母会を作ることは予定していないが、保護者同士の連携を支援することは、夏祭りや餅つきなどの行事を企画する。
4. 各種マニュアルや避難訓練などをホームページに掲載する。
5. 共有、周知しないといけない事柄は、ホームページに掲載していく。